

令和4年度 学校だより



丘の学び舎

所沢市立上新井小学校
7月号(夏休み直前号)
児童数 741名
校長 伊藤 公雄

<笑顔で過ごせる夏休みを>

学期末のまとめの時期、子供たちは学期当初に掲げた目標を振り返り、自身の成長を感じることができたことと思います。通知表を手渡す時には、担任は子供たち一人一人に対し、最後まであきらめずに頑張ったことを称賛したり、次の目標に向けて激励の言葉をかけたりします。

先日の懇談会で、通知表について、話をさせていただきました。その資料にある通り、ご家庭でも、「どのようところがよかったか」、「次の目標はどんなことか」等を話し合い、またがんばろうという意欲をもてるような声かけをしてください。

学校は休みになりますが、子供の「学び」がお休みになるわけではありません。この時期にできる学習や、この時期にしかできない体験等を通して、一回り大きくなった子供たちにまた会いたいと思います。

例えば、最近の暑さについて、天気予報を気にしてはどうでしょうか。最高気温の変化から熱中症を心配したり、豪雨や雷の天候の急変を知り、危険を察知する力を身に付けたりすることができます。地図の見方も上手になることでしょう。

★1日のスケジュールを立てましょう。

学校では、45分間の授業を1コマとして、チャイムで時刻を明らかにしながら、1日を過ごしています。家庭の「時間割」を作ってみるといいかもしれません。高学年ならば、自分で決めることもできるかもしれません。

★ルールを決めましょう。

学校には、「よい子のやくそく」があり、各クラスにも様々なきまりがあります。みんなが気持ちよく過ごせるために定められてあり、場合によっては、「～してはいけない」という禁止ルールもあります。家庭でも、ゲームや遊び、ネット利用などについてルールがあることも多いと思います。その見直しをしてはいかがでしょうか。高学年ならば、子供と一緒に考えることもできるかもしれません。

子供の成長や社会の変化等に合わせて、最適なルールに更新されていくべきかと思いません。特に、罰が伴う禁止ルールは、改善や廃止の対象ではないでしょうか。

あわせて、自転車に乗る時のヘルメット着用など、交通安全ルールについても再確認してください。

先日の研修会で、ヤングケアラーを題材とする人権啓発DVD「夕焼け」を視聴しました。子供たちには、SOSを発する力を身に付けてほしいと感じました。同時に、私たち大人は、子供のSOSを見逃さず、子供のSOSを感じ取れる存在でありたいと思いました。

一度立ち止まって悩むことは、心身の健全な発達・成長のために、悪いことばかりではありません。解決・解消に向け、一緒に悩む友達や大人がいることが、その子の力になるものです。答えが出ずに、一人で考え続けることがないようにしてあげたいですね。

コロナの終息は見えませんが、健康を第一に考え、有意義な夏休みを過ごしてください。様々な制限は継続しそうですが、コロナを正しく知ること、正しく恐れるようにしていきたいです。学校では、数年間に渡る実績と経験から、適切なコロナ対応を検討していきます。

それでは、笑顔いっぱいの夏休みを過ごし、元気に始業式に登校してくるのを楽しみにしています。

◆【子供たちへ】◆

夏休みの思い出を教えてね。クロームブック chromebookから入力してみよう。

→[回答フォームへのリンク](#)

